

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09040110

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成20年度～ 事業費：2,000千円 平成26年度～ 事業費：2,500千円 計画内容：運営費助成
基本施策	5	観光の振興	事業優先度	A		
単位施策	1	雄武観光の売り込み	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	観光協会運営助成事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	協会の安定運営		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
事業目標	1協会		関係例規・法令名			
住民参加	無		関係個別計画名			

151	全体計画 事業内容	平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	観光協会への運営費助成	観光協会への運営費助成～ 2,300千円	観光協会への運営費助成～ 5,142千円	観光協会への運営費助成～ 4,744千円	観光協会への運営費助成～ 4,744千円	観光協会への運営費助成～ 4,744千円
	事務局長人件費等相当額助成	事務局長人件費等相当額助成 ～1,485千円	(管理費～1,351千円、事業費～ 2,256千円、臨時雇賃金～400千 円、運転資金1,135千円)	(管理費～1,578千円、事業費～ 2,766千円、臨時雇賃金～400千 円)	(管理費～1,578千円、事業費～ 2,766千円、臨時雇賃金～400千 円)	(管理費～1,578千円、事業費～ 2,766千円、臨時雇賃金～400千 円)
	事務所(交流センター和室)改修工事	事務所(交流センター和室)改修 工事～6,300千円	事務所(交流センター和室)改修 工事～6,300千円	事務所(交流センター和室)改修 工事～6,300千円	事務所(交流センター和室)改修 工事～6,300千円	事務所(交流センター和室)改修 工事～6,300千円
	事務所開設備品等購入助成	事務所開設備品等購入助成 ～5,250千円	事務所開設備品等購入助成 ～5,250千円	事務所開設備品等購入助成 ～5,250千円	事務所開設備品等購入助成 ～5,250千円	事務所開設備品等購入助成 ～5,250千円
	事務局長人件費等相当額助成	事務局長人件費等相当額助成 ～4,478千円	事務局長人件費等相当額助成 ～4,478千円	事務局長人件費等相当額助成 ～4,478千円	事務局長人件費等相当額助成 ～4,478千円	事務局長人件費等相当額助成 ～4,478千円
計 画 事 業 費	事業費(千円)	52,855	15,335	9,620	9,300	9,300
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	1,485	1,485			
	地方債 その他 一般財源	0 0 51,370	0 0 13,850	0 0 9,620	0 0 9,300	0 0 9,300
実 績 事 業 費	事業費(千円)	23,927	14,307	9,620	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債 その他 一般財源	0 0 23,927	0 0 14,307	0 0 9,620	0 0 0	0 0 0
関 連 事 項	特定財源の名称 緊急雇用対策交付金	【評価・実績】	(実施内容等) 観光協会への運営費助成 法人化移行 事務所改修工事 事務局長採用	(実施内容等) 観光協会への運営費助成 法人化移行 事務所改修工事 事務局長採用	(実施内容等)	(実施内容等)
			※事務事業評価結果 A-継続/拡充	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前記計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	1協会	1協会	1協会	1協会
		年度達成率		93%	100%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率		27%	45%	45%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	観光協会運営助成事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	河原 学

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町観光協会	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	補助団体数、観光入込み数		
【抱える課題やニーズは】	実働人員の不足及び自主財源不足		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	事務局体制の機能強化による滞在体験型観光の促進		① 補助団体数	目標年度	平成26年度
				目標値	1 団体
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	観光客の増加により、地元経済が活発化する。	② 入込観光客数 産業まつり うまいもん祭り	実績値	1 団体	
			達成度	100.0 %	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	補助金の支出	観光協会に対する補助金の交付			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	既存の事業展開を含め、NPO法人としての事業展開(他地域に出向いての特産物の積極的な販売PRの実施、観光ガイド等地域リーダーの育成等)が必要であり、継続実施することが必要と考える。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	法人化移行後の事業展開により、イベント開催や観光客誘引の体制強化が図られたものと判断する。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	NPO法人として、滞在体験型観光推進への計画が進められており、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	特定の団体(NPO法人)に対する補助だが、町が積極的に行うべき役割も担っていることから、公平性は確保されていると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町とは異なる立場から観光PRに取り組んでいる団体であり、町が積極的に支援を行う必要がある。観光協会の自立に向け人員面も含めた継続的な支援が必要である。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
既存事業に加え、観光協会としてのマスタープラン作成に向け、協議体制の強化を図るとともに、観光ガイド等地域リーダーの育成による滞在体験型観光推進のため、継続支援が必要と判断する。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止